

子どもとの関係を強くする

子どもとの信頼関係を作っていくためには何が必要か？そのためには、子どもから見て「この人といっしょにいると楽しい！」「この人といっしょにいると安心できる」と思えるような存在になれるかどうか、がポイントなる。

それを具体的に言うと、この2つの機能を身につけること、と考えられる。



プラス感情を
大きくする

- ♡ ほめる
- ♡ 一緒に遊ぶ
- ♡ おしゃべりをする
- ♡ 楽しい時間を共有する
- ♡ 行きたい場所に連れていく
- ♡ 好きな物を買ってあげる



マイナス感情を
小さくする

- ☒ 不安や悲しみで泣いている時に
受け止めて落ち着かせる
- ☒ 怒りや苛立ちをなだめる
- ☒ 具合が悪い時に対処する
- ☒ 身の回りの世話をする
- ☒ 困っていることを一緒に考える

子どもとの関係を強くする

さっきのことをわかりやすく例えて言うなら

プラス感情を
大きくする



攻撃力

マイナス感情を
小さくする

守備力



攻守のバランスがとれたチームが本当に強いチームであるのと同じで
両方の力をかねそなえていくことが必要で、特に、守備力が重要！

子どもとの関係を強くする

攻撃力

プラス感情を
大きくする

守備力

マイナス感情を
小さくする



ポイント

守備力が重要な理由



たまに会うじいじ

ほめてくれるし、お小遣いもくれるけど、マイナス感情を小さくする関わりはあまりしない。つまり、攻撃力高め、守備力ほぼゼロ。だから、じいじのことは大好きかもしれないけど、「じいじの家の子になるか？」に子どもはノーと答える。じいじとの関係は本当の信頼関係ではない。



育児初心者パパ

攻撃系は頑張るけど、オムツ替えたり泣いた時にあやしたり病院に連れて行ったりするのはママ任せになりがち。だから、攻撃力高め、守備力低め。子どもが最終的に「やっぱりママがいい！」となるのは、守備力の圧倒的違い。

『喜びは倍に、悲しみは半分に』そんな人にそばにいてほしい

支援者用解説シート

- ▶ 愛着系の話になると、養育者への助言は「ほめましょう」「一緒に遊ぶ時間を作りましょう」になりがち。でも、愛着の本質は「不安や危険時に人にくっついて陰性感情を軽減させること」であることを考えれば、大事なのは攻撃力ではなく守備力であることがわかる。よって、養育者には、攻撃と守備の2つの側面から助言内容を考えることが重要。
(どっちが得意ですか？という聞いて振り返らせるのもアリ)
- ▶ 子どものことを叩いている母親であっても、母子の関係が良好な場合があり、それは、赤ちゃんの時から守備力的関わり（オムツ替える・夜泣きしたらあやす・ご飯食べさせる等々）を母が献身的にやってきたから、とも考えられる。
- ▶ 養父と子どもの関係が難しいのは、養父は子が小さい頃からの守備力的関わりによる貯金がないからとも言える。
- ▶ 1人の親が両方をバランスよくできたら良いが、難しいことも多いので、家族で分担する、という考え方もあっていいと思う。父・母・祖父・祖母がそろっている家は、それが自然とできている場合が多い。1人親が大変なのは、物理的負担に加えて、攻守両方を1人で担わないといけない、ということもある。
- ▶ 養護施設など複数の大人が養育に関わる場では、攻撃得意系・守備得意系と色々な職員がいて、チームとしてバランスがとれていればいい、という考え方もあり。サッカーで言えば、全員攻守万能なら申し分ないけど、それは到底無理なので、フォワードもいてボランチもいてゴールキーパーもいて、みたいな感じ。

付き合うだけなら攻撃力高めの人、結婚するなら守備力高めの人

攻撃力

守備力

守備力最強のイメージはサザエさんのフネ